

【令和5年第3回相馬方部衛生組合議会定例会管理者挨拶】

■各施設の放射能測定地の状況について

○光陽クリーンセンターで発生する排出灰について

9月9日測定の結果、主灰が72ベクレル、飛灰が550ベクレルでありました。

○有害鳥獣焼却場で発生する排出灰について

9月13日測定の結果、主灰が670ベクレル、飛灰が27,460ベクレルでありました。

○衛生センターで生産している肥料について

9月4日測定の結果、120ベクレルであり、国が肥料の流通可能な基準としている400ベクレルを連続して下回っております。

■各施設の運転及び管理状況について

○有害鳥獣焼却場について

本年4月からの処理状況については、9月20日現在で、174頭のイノシシの搬入があり、随時、焼却処分しております。

○光陽クリーンセンター、衛生センター、一里壇斎苑及び松川浦環境公園について

定期的な保守点検作業と計画的な整備を実施するなど、各施設とも正常運転に心がけ、順調に推移いたしております。

■病院事業について

○5類感染症へ位置付けが変更となった後の公立相馬総合病院における新型コロナウイルス感染症の陽性患者数について

当院を受診した発熱等のかぜ症状による患者数は、6月1日から30日までの一か月間で307人、うち陽性者となった患者数は39人。

7月1日から31日までの一か月間で受診した患者数は396人、うち陽性者となった患者数は76人。

8月1日から31日までの一か月間で受診した患者数は881人、うち陽性者となった患者数は257人。

9月1日から25日まで受診した患者数は556人、うち陽性者となった患者数は101人となっております。

発熱等による受診者及び、陽性者数については、8月に入り急激に増加し、特に、お盆期間中については、多くの市内医療機関が休診となっていたことから、一時的に当院に患者が集中いたしました。お盆期間中は、大変混雑する事態となりましたが、受け付け時は、詳細を聞き取らず、折り返し、当院から電話をかけ直すこととし、二度手間にはなりましたが、受診者を待たせず短時間で多くの件数を受け付けすることができました。その他、現場の職員が臨機応変に対処したことで、大きなトラブルもなく、診察を行うことができました。現在、新型コロナウイルス感染症の陽性患者数は、若干減少しているものの、インフルエンザの患者数が増加しており、発熱等による受診者数については、増加傾向となっております。

○コロナ陽性患者の入院状況について

5類感染症へ位置付けが変更された5月8日以降から9月25日まで、延べ72人、これまでの累計コロナ陽性患者数は、延べ418人となっております。引き続き、県の指定する重点医療機関として、病院職員一丸となり、感染防止対策に努め、診療業務に専念してまいります。

○病院建物等復旧工事事業について

令和4年3月16日に発生した福島県沖地震により被災した建物等の復旧工事については、去る7月15日から足場設置が始まり、二病棟、三病棟の外壁補修、各病棟内壁等補修を実施しております。9月25日現在、40%の進捗状況となっております。引き続き、工事の施工に当たっては、工事の安全と病院利用者の利便に十分配慮しながら、来年1月末の工期内完成を目指してまいります。